

瀬戸内タウンミーティング（本庄地区）

平成 24 年 10 月 19 日（金）午後 7 時～午後 9 時
本庄コミュニティセンター 大会議室

参加者：男性 15 人、女性 1 人、計 16 人

意見交換

- ・まず、市民病院の立て替えは必要だが、MRI など機械も良い物を入れなければ、良いお医者さんもこない。
- ・錦海はポンプで水を出しているが、堤防などは、いくらか国からも改修の費用も出るのではないか。
- ・図書館はどのくらいの予算で計上されているか。

（市長）財政が破綻せず、どうにかまかなえるものと考えている。建物と中身を含めて 10 億円。本を購入する費用はこれには含まれない。

- ・最近、瀬戸内市立図書館（邑久）と長船町公民館図書室に行ってみた。利用者は、邑久は親子 1 組だけで、たしかに、環境として図書館とは言えない。長船は 3 人だけだった。長船の方が図書館としては良いと思う。現在、図書館の利用者はどのくらいいるのか。また、どんな層が使っているのか。われわれサラリーマンなどは、平日日中にまず行けない。そういったことから考えると、10 億円かけて図書館を整備する必要があるのか、という疑問がある。

（市長）市民病院は、40 億円かかるが、市民病院も、使っていない方からは必要なのではないかということも言われている。錦海塩田跡地のポンプは、市がまわさなければならないと考えているが、堤防については、国・県に交渉していきたいと考えている。

図書館については、賛否両論ある。今、瀬戸内市の皆さんは、図書館のない生活に慣れているため、いらないという話がどうしても出る。しかし、約 12 億 8 千万円の費用をかけて図書館を建設した赤磐市では、図書館を作るときには本当にこんな図書館が必要なのか、という話はあったが、現在、県下でも利用者が多く、作って良かったという話にもなっているようだ。また、図書館については、現在の面積をこれ以上落とすとしても、かかる費用がそれに比例して下がる訳ではない。合併特例債の仕組みは、直接補助金としてくるのではなく、その分、交付税が多くもらえる。合併特例債は、合併したらその分施設などの整備が必要だという考えのもとできている制度。

- ・ちなみに、美術館はどのくらい維持管理費がかかっているのか？

（市長）美術館の維持管理費は年間約 3 千万円。図書館の面積については、2,000

平方メートル必要というのは、本の品揃えを確保するために最低限必要であるという面積。しかし、図書館については、維持管理費が負担となって財政が破綻するというのではいけないので、今考えている規模になった。

- ・ **現在の市民病院には、新しい機械を使えないような年輩の先生が多い。もっと若い先生に来てもらいたい。良い先生がいてこそ患者さんが増えると思う。**

(市長) 良い医師を確保するために積極的に動いている。病院の人事権は基本的に病院事業管理者にあるが、新しい事業管理者とお互いに協力しながら、岡山大学病院の医局などにも働きかけをしている。新しい医師に来ていただくということと、良い医師に残っていただけるよう、力を入れてやっていきたい。新しい治療方法などについても学んできてもらい、中身も生まれ変わるようもう少し時間をいただきたい。図書館も同じで、建物だけを建てるのではいけない。建物を建てる前に中身を考えなければならないので、建物を建てる前に館長候補者となる人を採用した。

- ・ **防災無線は、役員の交替の際に前の人から引き継ぐと、電池が切れたままの物が届いたりする。移設するときには電池を新しい物に変えるなど、市の方でも考えてもらえないか。また、電池の液漏れなどもある。いざというとき、停電したら使えないということになるのではないか。**

(市長) 事前に、行政委員さんのお宅などに置いていただいている防災無線の個別受信機について、電気代はどのくらいかかっているのかというご質問をいただいた。年に 1,000 円程度である。なんとか、行政委員の報酬としてお支払いさせていただいている中でということでご理解をいただきたい。

- ・ **公共下水道の進捗度は？もう少し早く進めてもらうわけにはいかないのか。公共下水道が病院や図書館より先ではないかと思う。**

(市長) ある地域で、公共下水道が来たら接続するかというアンケートをしたところ、つなぐと回答した割合は 4 分の 1 ほど。簡易水洗のままでいい・合併浄化槽のままで良いという意見が多かった。合併浄化槽の普及する前なら話も変わったのではないかと思うが、公共下水道はお金がかかる。工法によっては、1 メートル引っ張るのに 50 万円かかるほど。公共下水道が 100 世帯で 6 億円くらいかかるのに対し、合併浄化槽は 100 世帯で 6,000 万円ほど。それを考えると、また、公共下水道はやるところは早くやらないといけないが、やらないところは合併浄化槽で、ということも考えなければいけない。

- ・ **公共下水道がこないところには、それを早く教えてほしい。**

- ・ **南北道を南に延長するという話があるが、本庄の住民にしてみれば、それよ**

りも県道よりも一本南の農道を拡げてほしい。

(市長) 千町の農道を計画的に整備していくのであれば、都市計画が必要だと考えている。財源もない。現在、都市計画を入れた方がいいのかどうか検討している。ただし、市街化調整区域を取り入れると、やりにくくなる。市民の皆さんにご負担をあまりかけない形で都市計画を取り入れられないかと考えている。南北道は、費用対効果を考えると、財政への負担はあまりない。しかし、南北道の延長は投資の部分であり、市民の皆さんからの要望を聞かずに新しい道を作るのか、という話も当然あり、賛否両論ある。どちらをとるのか、慎重に考えていきたい。

- ・ **農道がだいぶ崩れているが、財政が悪いためなかなか補修してもらえない。また、石垣などもだんだん崩れてきている。市が直すという話になぜならないのか。**

(市長) 農道は受益者が1割負担。

- ・ **それでは、農道が崩れて家が潰れてなくなった場合には市は保証してくれるのか。**

(市長) 受益者負担ではないかと思う。また、建設課と相談したり、場合によっては要望を出してもらいたい。

- ・ **市役所の増築をして、牛窓にある教育委員会や長船にある福祉を1カ所にまとめて便利にしてほしい。**

(市長) 市民の皆さんにとって不便であるが、まず市役所、というのは市民の皆さんからの理解が得にくい。分庁舎方式は、仕事の能率を落としている部分もある。例えば、会議や打ち合わせがある時の移動時間や、会議の時間がかかったときの待ち時間などが発生する。しかし、例えば本庁にまとめるとなると、邑久の方は便利になるが、牛窓や長船の方は不便になる点もある。合併特例債が使える期間が、平成26年度までだったのが、東日本大震災の関係で平成31年度まで延びたので、それまでにどうするかを決めていかなければならないと考えている。

- ・ **市役所を直すのは理解が市民の理解が得にくいということだったが、本庁のトイレは、足の悪い人などが使いにくい。直してもらえないか。**

(市長) ゆめトピアは洋式になっているが、本庁は和式がほとんど。しかし、トイレだけをやりかえるのではなく、庁舎全体をやりかえるときの検討事項としたい。本庁にも1階に障害者用のトイレがあるので、利用してほしい。

- ・ブルーラインの下の道路を拡げるという話が4年前にあり、県の説明会では今後5年でやる、ということだった。しかし、その後用地買収すら進んでいない状況である。

(市長) すぐやる段取りで進んでいたが、その道路の下に埋まっている灌漑のパイプラインが、今の強度ではもたないため移動させるかやりかえるしかなく、そのための費用は全額を市が負担しなければならないということで、前に進んでいない。

- ・進展がないなら、最初に説明会も行っているのだから、状況について説明があってもいいのではないか。

- ・ごみ減量ということで、市でも雑紙の資源化について、取り組んでいるが、あまり進んでいない。容器包装プラスチックの資源化について、2年前のタウンミーティングでお話しして、難しいとはお聞きしたが、ある自治体では、シャンプーの容器などを使ってプランターを作っている(写真)。容器包装プラスチックの分別についても、取り組むべきだと思う。やってやれないことはない。

(市長) プラスチックの分別をやるのは、理想であるが、分別がさらに細くなり、その分別は、市民の皆さんの負担となる。市内で出されているごみの状況を見ると、意識の高い方がいる一方で、現在の分別よりさらに細かくというのは、今すぐには実現が難しいのではないかと考えている。現在取り組んでいる雑紙の分別について、まずは徹底していきたいと考えている。

